

令和2年度北九州市立北方小学校学校経営方針(全体構想)

学校教育目標

- 児童の実態
→本校の教育課題
- 保護者・地域の願い
- 時代や社会の要請

新しい時代を拓く心豊かで たくましい 子どもの育成

- <国・市の動向>
- ・学習指導要領
- ・「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」
- ・北九州市学力・体力向上アクションプラン

教育スローガン

「場を清め、時を守り、礼を正す」

めざす学校像

- 信頼のおける学校
- ・信頼できる教育活動、授業、先生、組織
(きれいな学校、たのしい学校
がんばる学校、たすけあう学校)

めざす子ども像

- あいさつができる子ども
- いのちを大切にする子ども
- うんどう、健康、元気な子ども
- えがおで過ごす子ども
- おもいやりのある子ども
(北方っ子のあ・い・う・え・お)

めざす教職員像

- 日々の授業を大切にする教師
- 愛情と情熱にあふれる教師
- 人権感覚や豊かな感性を備えた教師
- 保護者から信頼され、子どもから尊敬される教師
- 協働精神で自分のよさを伸ばす教師

- 子ども相互、子どもと教師、職員相互、学校と家庭、学校と地域が信頼し合える学校にする。
- ・清潔で美しい環境の整った学校
黙動(黙って掃除)、整理整頓
- ・子どもが「できる」「分かる」と感じる学校
- ・いじめや差別を「させない、見逃さない、許さない」学校
- ・子どもとともに、教職員と一緒に何事にもがんばれる学校
- ・一人にさせない生徒指導体制が構築された学校
- ・保護者や地域に開かれた学校

子どもが
「この学校で学びたい！」
保護者や地域が
「この学校に行かせたい！」
教職員が
「この学校で働きたい！」
と思う学校に。

- 進んであいさつをする
- ・校内、校外で、自分から進んで自主的にあいさつする。
- ※相手の目を見て、立ち止まって、礼をして
→「おはようございます」
「こんにちは」
「さようなら」
- 命を大切にする
- ・「自分の命は自分で守る」視点で防災・減災教育を実施する
- 進んで外遊びや運動をする
- 笑顔にする言葉かけができる
- ・「はい」という素直な心
- ・「ごめんなさい」という反省の心
- ・「ありがとう」という感謝の心
- ふわふわ言葉を使う
- 相手の立場に立って考える
- ・自分の気持ちや考えを、相手に分かりやすくまとめたり伝えたりして、学習や生活の中で高め合う

一時間一時間の授業の中に教育のすべてがある

- ほめて育てる
「適切な目標を設定する」
「結果とともに過程を大切にする」等
- ・子どもの思いを大切にする
- ・自信をつけさせる
- ・意欲を引き出す
- 子どもを伸ばす叱り方をする
→毅然として是々非々の対応をとる
- ・行為を叱る
- ・過去や他の人を比較に出さない
- ・先生のメッセージや思いを入れる
- 「特別なニーズ」をもつ子どもを学級から排除するのではなく、多様なニーズをもつ子どもを包摂していく
- 誠心誠意努力し、子どもの教育にあたる
- チーム北方の一員として、自分のできることを考え、動くことができる
- 担任は子どもファースト、支える職員は担任ファーストで、自分のできることを考え、学年をこえて教職員全体で子ども全員にかかわる

「チーム北方」の信頼と結束

- ① お互いを思いやり、明るく元気な職場で、心をつなげて、よりよい仕事をしよう。ワークライフバランスの充実を図っていこう。
- ② 一人にしない。一人で抱え込ませない。

- ◎危機管理体制・対応の徹底
- ・「ほう・れん・そう(報告・連絡・相談)」
- ・記憶より記録
- ・いじめアンケート、教育相談の実施

- ◎教育公務員としての自覚とプライドをもち、**綱紀粛正**に努める。**不祥事撲滅**
- ◎心と体の声を聴き、健康管理に努める。定時退校日。
- ◎ワークライフバランスの推進に向けた業務改善